

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	児童福祉論（Child welfare A（Outline））		
ナンバリングコード	E20907	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年／開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E041801	クラス名	-
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目です。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え取り組むことを心がけてください。		
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座15『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』第7版 中央法規出版		
参考文献及び指定図書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座15『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』 第7版中央法規出版		
関連科目	社会福祉原論、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、地域福祉論、社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	「社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について」により、社会福祉士国家試験受験資格を得るために、以下の内容を理解することが求められています。 ① 児童が権利の主体であることを踏まえ、児童・家庭及び妊産婦の生活とそれを取り巻く社会環境について理解する。 ② 児童福祉の歴史と児童観の変遷や制度の発展過程について理解する。 ③ 児童や家庭福祉に係る法制度について理解する。 ④ 児童や家庭福祉領域における支援の仕組みと方法、社会福祉士の役割について理解する。 ⑤ 児童・家庭及び妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援のあり方を理解する。	
授業の概要	地域社会における児童・家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢、福祉需要について理解を深めるとともに、児童・家庭福祉制度の発展過程、児童の権利、児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について考察を行います。 地域の抱える課題・ニーズに対して、理解を深めていきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域社会における課題・ニーズに対し、関心持つとともに地域での生活者の一人として意識することができる。		20点	
【知識・理解】	①児童・家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢、福祉需要②児童・家庭福祉制度の発展過程 ③児童の権利④児童家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解している。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	現代社会における子ども家庭が置かれている状況および課題について説明することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	現代社会における子ども家庭が置かれている状況および課題について考察することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
リアクションペーパー等の提出状況(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックについて、希望者には、次回以降にリアクションペーパーの講評・解説を行う。	

○その他	
講義内容については、進行状況等により変更する場合があります。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	児童福祉論（Child welfare A（Outline）） 鍋田 耕作	授業コード	E041801
学修内容				
1. 児童・家庭の定義と権利				
「児童・家庭の定義」および「児童の権利」について理解する。 ※キーワード: 児童の定義、家庭の定義、児童と家庭の関係、児童憲章、児童権利宣言、児童の権利に関する条約				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
2. 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境①				
「児童・家庭の生活実態」について理解する。 ※キーワード: ライフサイクル、家族形態、子育て（出産、育児、保育、家事）、住居、就労、経済、教育、課外活動、遊び				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
3. 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境②				
「児童・家庭を取り巻く社会環境」について理解する。 ※キーワード: いじめ、児童虐待、ひとり親家庭、家庭内DV、社会的養護				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
4. 児童・家庭福祉の歴史				
「児童福祉の理念」「児童観の変遷」「児童・家庭福祉制度の発展過程」について理解する。 ※キーワード: 健全育成、児童の権利、最善の利益、保護の対象としての児童、権利の主体としての児童 児童福祉法制定、措置と契約、				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
5. 児童・家庭に対する法制度				
「児童家庭に対する法制度」について理解する。 ※キーワード: 児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、DV防止法、母子及び父子並びに寡婦福祉法、母子保健法、児童手当法 児童扶養手当法、特別児童扶養手当等の支給に関する法律、次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法、売春防止法				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
6. 児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職①				
「児童や家庭に対する支援における公私の役割関係」「国、都道府県、市町村の役割」「児童相談所の役割」について理解する。 ※キーワード: 行政の責務、児童相談所の組織・業務・市町村及び他の機関との連携				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
7. 児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職②				
「その他の児童や家庭（女性、若者を含む）に対する支援における組織・団体の役割」について理解する。 ※キーワード: 児童福祉施設、家庭裁判所、警察、婦人相談所、配偶者暴力相談支援センター、婦人保護施設、子ども家庭総合支援拠点、子ども・若者総合相談センター、子育て世代包括支援センター、地域若者サポートステーション				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
8. 児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職③				
「関連する専門職等の役割」について理解する。 ※キーワード: 保育士、医師、歯科医師、保健師、看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、栄養士、弁護士 等 児童福祉司、児童心理司、家庭児童福祉主事、児童指導員、母子支援員 等 スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等 民生委員、児童委員、主任児童委員、家族、住民、ボランティア等				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間

○授業計画	科 目 名	児童福祉論（Child welfare A（Outline））	授業コード	E041801
	担当教員	鍋田 耕作		
学修内容				
9. 児童・家庭に対する支援の実際①				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: 子ども・子育てへの支援、次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法 子ども・子育て支援法、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
10. 児童・家庭に対する支援の実際②				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: ひとり親家庭に対する支援、児童と家庭に対する就労支援、子どもの貧困に対する支援、若者への支援 母子及び父子並びに寡婦福祉法、児童扶養手当法、子ども・若者育成支援推進法				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
11. 児童・家庭に対する支援の実際③				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: 児童相談所における支援、要保護児童対策地域協議会における支援、児童虐待防止に向けた支援 社会的養護を必要とする児童に対する支援 児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
12. 児童・家庭に対する支援の実際④				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: 女性への支援、DV防止法、売春防止法				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
13. 児童・家庭に対する支援の実際⑤				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: 妊産婦への支援、母子保健法				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
14. 児童・家庭に対する支援の実際⑥				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: 障害児に対する支援、特別児童扶養手当等の支給に関する法律情緒障害児、非行				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
15. 児童・家庭に対する支援の実際⑦				
「社会福祉士の役割」および「支援の実際」について理解する。 ※キーワード: 情緒障害児、非行、いじめ(いじめ防止対策推進法)				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
16. 期末試験				
試験を実施します。				
予習				
復習				